

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 21日

事業所名 フロル 三津屋

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	活動内容によってフロアーを分けている	動線等活動を遮らないといけない状況を改善中
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4		全てのフロアーに施すことができてない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	3		目標設定をしっかりと行い、実地していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		日々の会話からもご意見を頂戴している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		今後、行っていくことを検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		できるだけ月1回の受講している	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	年に1回は可能な限り行っている。	都度の更新ができてない
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		朝礼時に活動プログラムの提案・実施の検討をチームで行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		一部固定化されている為、各お子さんにあった内容で対応するようにしていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		大まかには設定しているが、きめ細やかな設定になるよう改善を目指す
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者と対面でモニタリングを実施し、子どもたちの状況に応じて個別支援計画書を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	必ず朝礼を実施し、一日の流れや、役割の分担、昨日の振り返り等を実施している。	集団活動内での役割分担が不十分である
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	シフト制で全職員が揃えないので、申し送りやツールを使用して情報共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2		支援記録を更に分かりやすく記載する
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2		サービスの必要性の見直しができでない
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	4		一部固定化されている為、各お子さんにあった内容になるよう、複数の活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成していく

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		送迎時など、必要に応じて連携を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7		(医療的ケアを必要とする児童は対象外)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		情報共有しているのが、児童発達支援事業所だけにとどまっている為、今後は園とも行っていく予定
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	障がい福祉サービスへの移行は実際にまだないが、以降に向けての情報提供などの準備は出来ている。	現時点ではケースが無い
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		今後は専門機関と連携、助言を求めている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		現在、交流が無いため、地域での交流会など、交流を行える企画を検討中
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			開所時より参加し、子ども部会の運営も担っている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		要望も出ており、今後、対応していくことを検討中
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時にご説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		法人内の他事業所や相談支援事業所と連携し、必要な助言を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		要望も出ており、今後、対応していくことを検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		
	35	個人情報に十分注意している	7		鍵付きの書庫にて保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3		今後、行っていく方向で検討中

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		保護者や職員がいつでも確認できる場所に掲示している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に避難訓練などの訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		年1回以上、研修と防止委員会での会議を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		対象者以外にも記載しているのを、改善していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	契約時に最終確認を行い、その後年1回、全利用者を対象に調査を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		その都度ヒヤリハットの作成・共有を行っている。	